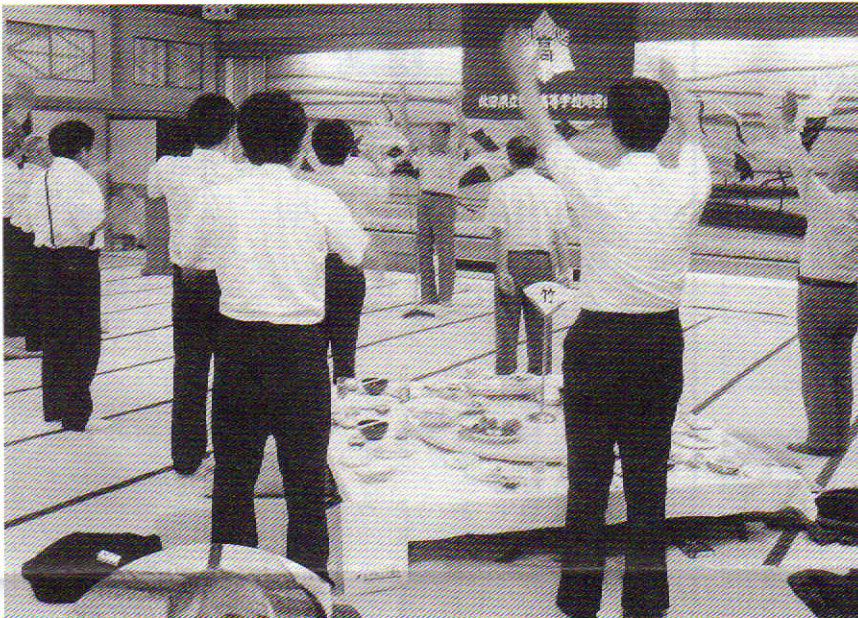


平成19年度

# 同窓会 總會 報告

平成十九年度同窓会總會は、九月二十一日（金）、例年のとおり料亭「金勇」で四十五名の出席で行われました。次第に従い故人への黙禱の後、田中仁純会長が挨拶し、その中で同窓会員（教職員ではなく）による事務局の運営について話されました。井上高廣校長は同窓会の学校に対する協力に感謝し、能代高校で本年度から本格的に開始された事業Will Projectについて説明し協力を求められました。議事に入り、会務報告、会計決算、本年度予算（案）が提案され満場一致で承認されました。



万歳三唱



総会での会長挨拶

懇親会は当番幹事二十七期の進行で行われました。多忙の中駆けつけた県議会議員の能登祐一氏が来賓として挨拶し、教育の現状について憂慮し、今後の学校教育の厳しさなどについて述べられました。乾杯の音頭は遠来の東京同窓会監査役、山懸輝輔氏（二十四期）にお願いました。宴会の中でいつものとおり参加者の多い期の方々に「東雲羊羹」が贈られました。それぞれが昔話をしたり、世代を越えて話の花を咲かせていたグループもありました。万歳三唱は、二十一期の佐藤幹雄氏が元氣あふれる発声で行い懇親会を終了し、余力のある方々が三々五々に二次会に散りました。

尚、東京同窓会の方から能代高校の事業、主にWill Projectについて意見調整をしたいとの申し出があり、総会の当日、田中同窓会長、東京同窓会長太田勝治氏、同監査役山懸輝輔氏、同窓会役員、学校側（校長、教頭）とで約一時間話し合いました。学校では計画的に事業を推進していますが、同窓会員にはよくわからないこともあり、今後、学校と同窓会が連絡を密にし、同窓会として協力できることがあれば対応していくことになりました。

## 「同窓会事務局」設置について

これまで本部の事務局の運営は主に能代高校の教職員が担当していましたが、教職員以外の同窓会員も関与しなければならぬことになり、能代高校内の一室に同窓会事務局を十月一日に設置しました。事務局員は下記の四名が担当します。これからは教職員と二人三脚で運営していくこととなります。

各月、三日、十三日、二十三日、午前十時〜十二時、事務局員、誰かが事務局にいます。（但し、土・日曜日、祭日、休校日は不在）

これを機会に同窓会役員も役割分担をして運営に当ることになりました。（下記の表）

事務局の設置に当り、校舎の玄関前に看板を掲げ、これまでなかった校名の看板も同窓会で設置しました。

看板は銘木を越後春輝知氏（十七期）、春彦氏（四十四期）（彌丸越）から寄付していただき、書は山田晃一氏（四十二期、倫勝寺住職）にお願いました。ありがとうございます。

事務局	事務局長	役員	総務担当	財務担当	広報担当
松谷健	高橋宏	山田林勝	浅田嘉美	佐藤田	飯島
山田孝一	小田研平	工藤茂宣	大坂昇健	高橋	高田
山田	太田	工藤	松谷	太田	高田
山田	太田	工藤	松谷	太田	高田
山田	太田	工藤	松谷	太田	高田
山田	太田	工藤	松谷	太田	高田
山田	太田	工藤	松谷	太田	高田
山田	太田	工藤	松谷	太田	高田
山田	太田	工藤	松谷	太田	高田
山田	太田	工藤	松谷	太田	高田
山田	太田	工藤	松谷	太田	高田

能代高校同窓会事務局



秋田県立能代高等学校